

「大っ嫌い」も 楽しい野菜



北上市のふるさと納税返礼品として開発された「やさい大っきらい!？」を手にする(左から)高橋社長、菅原さん、菊池代表

【北上】北上市の青果店P&Cリンク(菊池康弘代表)と商品企画会社の祭り法人射的(高橋裕子社長)は、同市のふるさと納税返礼品として新製品「やさい大っきらい!？」を開発し、16日から発送を始めた。北上産の野菜や果物を規格外も織り交せて箱詰めし、イ

ふるさと納税 返礼品に新商品

ラスト付きのシールなどを同封。子供たちが親しめるよう工夫した。

P&Cリンクスタッフで4児を育てる菅原遥奈さん(28)が「子供たちがじかに野菜に触れて、嫌いなものも食べられるように」と母親の立場から考案。子供たちを「野菜大好き」に変

えようと、同市の地域おこし協力隊員でもある高橋社長(38)があえて「やさい大っきらい!？」と名付けた。1万5000円の寄付に対する返礼品で、北上産野菜10〜12品目を詰め合わせる。今回はタマネギ、キャベツなどが季節ごとに品を変え、二股のダイコンと

いった珍野菜や違った色のカラーニンジン、少し傷がついた「訳ありリンゴ」など規格外も入れる。菊池代表(46)は「市場流通してない野菜も面白くアレンジしている。規格外といっても味、品質とも申し分ない」と自負する。

漫画家二人組ユニットsonnoの一人で「里山ごちそうスケッチ」を手掛けた北上出身のみやおさんがユニークなイラストを仕上げ、同市の佐々木印刷がラベルを担当した。

子供たちには野菜にシールを貼り付けて多様な顔に「変身」させ、遊びながら匂いや肌触りを確かめてもらう。シールの粘着剤には安全な菜果ラベルを使用。「最後にシールをはがし、家族と料理を一緒に作って食べてもらえれば」といい、野菜を使ったレシピも同封する。

3人は「規格外のものも含め、子供たちにも野菜に親しんでほしい」と願いを込めている。

「二刀流頑張ってる」「170*期待」

野球少年ら寄せ書き

応援選手選大谷



【奥州】奥州市プロ野球日本ハム

トヨタ自動車東